

令和6年度事業計画

本協議会（略：福経協）設立趣旨に則り、福祉人材養成と大学教育を巡るさまざまな課題に会員校が連携・協力して取り組みをすすめるとともに、福祉系大学に寄せられる期待と社会的要請に応じていく。

1. 福祉人材養成の充実と福祉のイメージ回復に向けた取り組み

- 1) 厳しい学生募集環境や、福祉人材の育成・確保に関する課題、社会福祉士の職域拡大と地位向上の課題、福祉系大学が抱える諸課題等の解決に向けて、引き続き取り組みを進める。特に、福祉職の存在価値や魅力等の発信については、福祉のイメージ回復に寄与する取り組みを関係団体・省庁等との連携を図りながら検討・推進する。
- 2) 「こども家庭ソーシャルワーカー」認定資格の動向について引き続き注視し、関係団体等との連携に留意し、関係省庁等への働きかけを含む、福経協として必要な対応に努める。また、新カリキュラムでの国家試験の初年度となる社会福祉士について、引き続き資格制度や国家試験のあり方等を検討するとともに、社会福祉士を質的・量的に拡充していくための養成校としての取り組みについても検討を進める。
- 3) 大学間連携を始めとし、高大連携、社会福祉法人との連携等、「連携」をテーマに各大学の取り組みの共有を図り、福経協としての新たな「連携事業」についての検討を進める。
- 4) オンラインでの委員会活動の取り組みを軸に、引き続き会員校同士の情報交換の活潑化を図る。あわせて、総会や外部公開形式の勉強会はハイブリット型での実施を追求し、対面で交流できる機会を増やす。
- 5) 本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に、引き続き取り組む。

2. 各委員会の取り組み

引き続き下記の委員会を設置し、各課題解決に向けて取り組みを進める。会員校は、希望に基づき、各委員会に所属するものとする。各事業推進にあたっては、会員校間の連携強化につながり、全体で取り組むことの効果を追求し、進めていく。

◎令和6年度設置委員会

- ①総務・企画委員会
- ②研究活動・教育向上委員会
- ③就職委員会
- ④学生募集戦略検討委員会
- ⑤大規模災害対応委員会

1) 総務・企画委員会

- 各委員会や関係諸団体とも連携し、取組みの内容についての発信を強化していく。また、協議会ホームページの活用について見直し、福祉の学びを希望する高校生に活用されるサイトを目指す。
- 引き続き、学生募集戦略検討委員会と共催で、厳しい学生募集状況の改善に繋がる事業を推進する。
- 地域共生社会の実現に向けて、児童・家庭をキーワードに家族モデルからの変化や現状について理解し、子ども家庭福祉を担う専門職の養成に関わる大学の教育の展開方向や大学間連携・協働のあり方について考える契機となる外部公開形式の勉強会を開催する。

2) 研究活動・教育向上委員会

(1) 国家試験に対するアンケートの実施

社会福祉士国家試験終了後 会員校に対し、試験実施状況、不適切問題等についてアンケートを実施する。

(2) 学習・情報交換会の開催

①情報交換会の開催

新カリキュラムにおける「ソーシャルワーク実習」についての諸課題や効果的な教育方法について会員校の交流を通して、よりよい実習指導のあり方など情報交換を行う。

②学習会の開催

福祉系大学を取り巻く諸課題として学生募集や就職支援などをテーマに講師を招いた学習会を開催する。

3) 就職委員会

- 福祉を専攻する学生の「労働市場の拡大」に向けて、福祉業界だけではなく、広く他職種・他業種をも視野に入れて充実強化することを念頭に、成長産業や地域の価値を高める産業等に対する急速に変化する社会的ニーズを把握し、各地域の特性を活かした教育のあり方に関する情報共有に取り組む。
- 障がいのある（とりわけ発達特性のある）学生の「就職支援」及び「卒後支援」について、現状に係る情報交換を行い、今後の施策に活かしていく。

4) 学生募集戦略検討委員会

- 学生募集や広報、入試制度をテーマに取り上げた勉強会を複数回開催し、会員間での共有を図る。
- 会員校のオープンキャンパス等の情報を集約し、協議会ホームページで発信する。
- SNS 連動広告を活用した Web マーケティングの実施継続を検討する。

5) 大規模災害対応委員会

- 「ソーシャルワーカーの"声"プロジェクト」を今年度も継続して実施する。インタビューを1～2月に行い、3月に報告会を開催予定。
- 会員校が実施する防災及び災害支援に関する活動の情報発信について、今年度も継続して実施する。情報発信の方法としては、福経協ホームページを予定している。

以上